

成果説明書

【政策 1：子育て・教育】

心豊かで自立できる人が育つまち

【施策 1-1】 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策 1-2】 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体で取り組みます

【施策 1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

【施策 1-4】 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

【施策 1-5】 市民の人権意識を高めます

政策1	心豊かで自立できる人が育つまち
-----	-----------------

所 管	教育委員会
関 連	市民生活部
関 連	

◆ミッション

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」の精神のもと、子どもたちの伸びやかな成長と、生涯にわたって学び続ける社会の実現に向けて、小諸の教育を進める。

- ・子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
- ・教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
- ・地域総ぐるみで子どもたちを育成する取組みを推進する。
- ・生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。
- ・人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

◆方 針

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、アクティブラーニングや問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図る。そして、こうした「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。そのために、教職員の研修の機会の充実による指導力の向上とともに、体験的な学習の推進や、学校、家庭、地域、関係機関など全ての主体が連携・協力した地域総ぐるみで教育を支える体制の構築を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、保育園・学校の長期改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、人的な面では、支援教員、学校生活支援員、指導主事等の配置の充実に努める。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取組みを推進する。
学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安心・安全の確保に向けて、地域総ぐるみでの取組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、新たにファミリーサポートセンター事業を実施する。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。
0歳から高齢者まで生涯を通じた学びが広がり、生きがいづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。特に市立小諸図書館は、「市民の知の拠点」「市民が多様な文化と出会う場」と位置付け、さらなる充実を図る。また、文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、古文書館(仮称)を設置し、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 令和2～5年度の「教育大綱」及び「教育振興基本計画」を策定し、教育振興施策の着実な推進を図る。
- 「長期学校改築計画」を市民合意等を得て策定するとともに、施設・設備の適切な整備及び維持管理、ICT化、教職員の指導力の向上・働き方改革を進め、地域総ぐるみで教育を支える取組みの推進など教育環境の充実を図る。
- 特別な教育的ニーズのある子どもをはじめ、子どもたち一人ひとりに応じた学びを支えるため、施設・設備の充実とともに人的体制の強化を図る。
- 新保育園の令和4年4月開園に向けた準備作業、また、保育園で継続して安全で安定的な給食が提供できるよう、令和3年4月からの調理業務委託の対応を、市民の理解を得ながら着実に進める。
- 「病児・病後児保育施設」の整備、「ファミリーサポートセンター事業」等の取り組みを進め、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実を図る。
- 市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等(スポーツを含む)の開催や、社会教育施設の環境整備を図り、学びの促進・生きがいづくりにつながる取組みを進める。
- 「小諸市文化財保存活用基本方針」に基づき、文化財を適切に保存・継承する。旧小諸本陣(問屋場)の解体復原工事、小諸城址「懐古園」の国の「名勝」指定に向けた取組み、小諸ふるさと遺産認定事業等を進め、小諸の資源を生かした学習にもつなげる。
- 市民の人権意識を高めるため、人権擁護団体、同和団体等の連携により人権同和施策の推進を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

支援教員や学校生活支援員等の配置による学習・生活支援など多様な教育的ニーズへの対応を進めるとともに、新学習指導要領実施に向けた英語教育の取り組みやICTを取り入れた授業展開など、子どもたちの「学び」を支えるソフト面の施策は着実に進んでいる。一方、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教員の働き方改革」を推進し、教員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校状態の改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。また、ハード面では学校改築・再編基本方針に沿って「長期学校改築計画」の策定作業を次の「具体的な検討段階」へ移行し、早期の計画策定が図られるよう進める。

◆方針

目的
ハード、ソフト両面で学習環境の整備を着実に進めるとともに、子どもたち一人ひとりに応じた「学び」を支える体制の強化、地域総ぐるみで教育を支える体制の構築を図る。また、ふるさと小諸の素晴らしさを発見していく学習や、教職員の指導力の向上、授業改善等を推進する。特に、校舎等については、小・中学校のあり方を含む長期学校改築計画を策定し、整備・充実に取り組む。これらにより、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高めるとともに、基礎的な学力や自ら考え行動できる力などの「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。

◆令和元年度重点方針と目標

・「長期学校改築計画検討会」から提言された「たたき台」を基に、「長期学校改築計画」の策定に向けて、検討方法、市民合意の手法、手順などを確立し、着実に策定作業を進める。
 ・施設・設備の維持管理を、優先順位をつけて計画的に進めるとともに、子どもたちの学習習慣・生活習慣の形成への支援や教員の資質向上など、「学びを支える体制」を維持する。
 ・小学校での「英語」の教科化に向けて先導的な取り組みを継続するとともに、「特別の教科 道徳」の定着を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①学校施設や設備・備品、人的な体制などハード・ソフト両面において、良好な学習環境が整備され、子どもたち一人ひとりに応じた「学び」を支える体制が構築された状態。 ②学校、家庭、地域、関係機関など全ての主体の連携・協力により、地域総ぐるみで教育を支える体制が構築された状態。
設定理由
①子どもたちの「生きる力」の育成を図るためには、良好な学習環境とともに、子どもたち一人ひとりに応じた「学び」を支える体制が必要だから。 ②子どもたちの「生きる力」は、学校での教育だけでなく、様々な場において、多様な価値観との関わりの中でこそ育まれるものであり、そのためには、地域の教育力を高め、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支える体制が必要だから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育制度、学校再編計画について検討する「小諸市学校教育審議会」を立ち上げ、計11回の審議を重ねた。 ・猛暑による学習環境改善のため、全小中学校の普通教室を中心に冷房設備を設置した。 ・小学校には支援教員、中学校には不登校支援教員、小中学校全校に学校生活支援員などを市費で配置することで、子どもたちの学びを支える体制を維持した。 ・英語教育担当指導主事を中心とした英語指導助手(ALT)と担任教員とのチームティーチングによる取り組みを実施した。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)							
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。							
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	小94.8 中93.9	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100		
		実績	小95.1 中97.1	小94.5 中98.7	小93.5 中98.1			
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)							
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。							
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	小97.0 中94.6	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100		
		実績	小98.0 中90.0	小100.1 中96.1	小97.3 中93.4			
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合(政策の「めざそう値4」)							
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると思われるから。							
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	小80.6 中86.8	計画	小90.0 中90.0	小90.0 中90.0	小90.0 中90.0	小90.0 中90.0		
		実績	小84.5 中76.3	測定なし	小88.2 中76.0			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・「学校教育審議会」での議論を計画的に進め、学校再編の具体化につなげる。 ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。 ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。 ・教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進し、併せて教育現場のICT化を進める。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

小諸市教育振興基本計画

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
教育委員会運営費		継続		24		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	3,267 千円	3,192 千円	3,102 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,267 千円	3,192 千円	3,102 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	定期的な教育委員会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
	事前研究会・研修会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
	令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
・定例教育委員会について適切な運営を行った。 ・事前研究・研修会の定着が図られた。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
教育委員会の定例会、協議会及び事前研究・研修会について、それぞれの位置付けや会議内容を随時検証し、必要に応じて運営方法を見直すことで、継続的に教育委員会の機能強化を図る。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
姉妹都市教育委員等連携事業		継続		20		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	子どもたちが他地域の文化に触れる機会を確保するため交流事業を支援する					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	796 千円	729 千円	538 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	50 千円	30 千円	20 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数	人	計画	6	6	6
			実績	5	3	2
			計画			
			実績			
	令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
・滑川交流 坂の上小学校へ補助金交付 ・中津川交流 サマー サイエンス スクールへ2名参加						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
各学校に対し副読本の配布などを通じ、姉妹都市の周知と過去の交流活動を紹介し、交流事業の活性化を図る。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
事務局運営費		継続		25		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	【運営費】 ・施策推進のための事務局運営費					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		4,685 千円	4,453 千円	4,657 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		4,685 千円	4,453 千円	4,657 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				計画		
				実績		
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
各課各係の運営を円滑に実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
定常的に事務局組織の見直しを行うとともに、事務局内の横の連携を密に図ることで、効率的かつ効果的な組織運営を図る。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学生海外文化・語学学習事業		継続		12		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	アメリカ・ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		2,141 千円	2,106 千円	2,122 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,141 千円	2,106 千円	2,122 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	中学生海外派遣人数		人	計画 8	計画 8	計画 8
				実績 8	実績 8	実績 8
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
・前年度3月に事前学習(29名参加)を開催し、英語教育担当指導主事が作成したカリキュラムにより授業を展開した。 ・事前学習では大学生8名にスタッフとして参加いただいた。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
令和元年度より、「市内中学校の生徒」を「市内在住の中学生」としたことで、市外中学校に在籍する生徒も参加することができた。派遣された生徒が作成する派遣報告の壁新聞のPRを継続して積極的に行うことにより、中学生の事業への関心を図る。(派遣生徒在籍中学校、市役所1階ロビーにて展示を行う。) 令和2年度は新型コロナウイルス感染防止により、事前学習(令和2年3月)及び派遣(8月予定)を中止した。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
学校運営費		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課		1:無			
事業概要	【運営費】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		16,779 千円	18,485 千円	21,069 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,003 千円	0 千円	1,350 千円		
一般財源		15,776 千円	18,485 千円	19,719 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	課外活動備品購入費の予算計上額(寄附金額)		万円	計画	80	100	100
				実績	103	0	135
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校における働き方改革の取り組みのひとつとして、学校の業後の電話を自動音声に切り替えることで、教職員の電話対応を軽減した。(野岸小学校、千曲小学校) ・小諸市教頭会において、各学校のレポート発表を行い、各学校で共有を図った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>働き方改革推進検討委員会の提言書に基づき、「学校」、「教育委員会」、「保護者」がそれぞれ取り組むものを明確化し、可能なものから実施していく。定期的に振り返りを行い、成果が出ないものについては検討のうえ取り組み方法を変更し、実施していく。</p> <p>学校の業後の電話を自動音声に切り替え、教職員の電話対応を軽減する取組を継続していく。(令和2年度導入予定:6校)</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
学校給食食材放射性物質測定事業		継続		17			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課		1:無			
事業概要	・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実施と結果の公表						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,620 千円	915 千円	757 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,620 千円	915 千円	757 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	測定実施日数		日	計画	48	24	24
				実績	48	24	24
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
全小中学校各1検体を2週間に1回測定を実施した。							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>過去の検査結果を含め、各校担当者と共有する。基準値を超えた検査結果が出た場合は、その食材の利用停止等早急な対応を各校担当者とする。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
英語教育推進事業		継続		11		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課		1:無		
事業概要	<p>・文部科学省が策定した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に基く教育環境づくり推進のため、小学校英語教育の早期化</p> <p>・教科化や教育内容、授業数の在り方、また、教育課程の改善を踏まえた中学校及び高等学校における英語教育の目標</p> <p>・内容の高度化や指導方法への改善についての調査研究を行う。</p>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		1,874 千円	30,159 千円	30,276 千円	
	特定財源	地方債	1,070 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		804 千円	30,159 千円	30,276 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小諸市英語教育推進委員会の開催数	回数	計画	6	6	6
			実績	5	5	5
		評価	計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>小諸市英語教育推進委員会として、英語教育指導主事(事務局)、小・中学校から推薦された教員、ALT(英語指導助手)が定期的な会議を開催し、新学習指導要領への対策や課題の共有を図った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>新学習指導要領への対応に差が無いよう、小諸市英語教育推進委員会において、共通した指導方法を検討する。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
長期学校改築計画策定事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課		1:無		
事業概要	<p>市内小中学校のあり方について、小諸市長期学校改築検討会において「たたき台」を作成し、さらに検討を加え「小諸市長期学校改築計画」を策定する。</p>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		501 千円	8,479 千円	7,307 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		501 千円	8,479 千円	7,307 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	審議会の開催	回数	計画	10	0	12
			実績	11	1	11
		評価	計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項		
<p>「小諸市学校教育審議会」において11回の会議が開催され、「より望ましい学校の姿」、「小学校再編の必要性」、「小中一貫教育の導入」についての審議中間まとめ報告会の開催を決定した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>①学校施設長寿命化計画策定の中で、各条件下での学校施設更新費用シミュレーションや児童・生徒数の将来推計といった、基礎的データをとりまとめ、学校教育審議会の議論の前提条件として提示していく。</p> <p>②学校施設長寿命化計画については、全庁的な公共施設再編計画との一体的な取り組みを視野に入れ、市長部局との連携を深める。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小学校管理費運営費		継続		7		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無		
事業概要	【運営費】 ・小学校の管理、運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体、事業への負担金交付					
	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
投入指標	年度別事業費	157,289 千円	127,505 千円	132,762 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	1,292 千円	5 千円	29 千円		
	一般財源	155,997 千円	127,500 千円	132,733 千円		
活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	QU検査・ハイパーQU検査の実施校	校	計画	6	6	6
			実績	6	5	5
	CRT検査の実施校	校	計画	6	6	6
実績			6	6	6	
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
全小学校でCRT検査(学力検査)及びQU検査・ハイパーQU検査(児童の学校生活意欲、学級満足度の調査)を目標どおり実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
校長会において市教委と各学校間の情報を共有し、スムーズな管理、運営を行っていく。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小学校施設維持管理事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無		
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など					
	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
投入指標	年度別事業費	820,453 千円	869,835 千円	362,475 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	193,075 千円	169,999 千円	58,300 千円		
	地方債	462,200 千円	436,900 千円	116,500 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	165,178 千円	262,936 千円	187,675 千円		
活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	計画	1	1	1
			実績	1	1	0
				計画		
			実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
・計画的に緊急性・優先性の高い案件の改修に取り組んだ。 ・全小学校のエアコン設置工事を竣工した。 ・美南が丘小学校の大規模改修工事に向けて実施設計に着手した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。 ・学校施設の環境改善、長寿命化対策としての美南が丘小学校大規模改造工事を実施する。 ・職員室、給食室などの使用率と必要性の高い部屋について、冷房設備の設置を検討する。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小学校給食運営事業		継続		15			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課		2:有			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		56,961 千円	63,508 千円	61,019 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		56,961 千円	63,508 千円	61,019 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	給食日		日	計画	210	210	210
				実績	210	210	210
				計画			
				実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食協議会を通じ、各学校の取組みをそれぞれのPTAと情報共有した。 ・調理主任会、衛生責任者会、栄養士会、各々の会議で、各校取組み状況を共有し、マニュアル改訂整備の検討を行った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>栄養士、調理主任、衛生責任者、その他給食調理員の取組みを共有するとともに、検証及び適宜改定を行う。自校方式を継続し、給食給食調理業務の委託化に向け、検討を進めていく。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小学校保健事業		継続		13			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種検診・検査の実施 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		14,036 千円	13,968 千円	13,315 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,485 千円	1,679 千円	1,363 千円		
一般財源		12,551 千円	12,289 千円	11,952 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	該当事件数に対する給付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
				実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行ない、事案の早期把握に努めた。給付件数242件 ・ストレスチェックは法で定める対象学校(1校)を実施した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>小諸市養護委員会にて情報を共有する。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小学校教育振興事業		継続		18			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催 小学校の理科教育備品の整備 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	3,135 千円	1,789 千円	1,789 千円		
		地方債	500 千円	445 千円	498 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,635 千円	1,344 千円	1,291 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	実施学校数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	音楽の体験授業実施校数		校	計画	6	6	6
				実績	6	6	6
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 生の音楽を体験することにより、音楽の楽しさを実感する機会となった。 理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽体験授業については、学校からの評価が高いため継続していく。 ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため実施は見合わせ、令和3年度に5年生及び6年生の体験授業を実施する。 理科教育備品については、学校ニーズを把握したうえで、通常予算では購入が難しい高額なものを優先に購入していく。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小学校ICT教育推進事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> パソコン教室等、情報教育に係る環境の整備 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	17,259 千円	11,775 千円	10,981 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		17,259 千円	11,775 千円	10,981 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	クラスの児童数に対するパソコン教室のパソコン設置数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	「ICT環境整備計画」にもとづく情報端末の整備割合		%	計画		10	25
				実績		0	0
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<p>県が情報機器の共同調達予定を示したため、その動向を見ながら整備計画を策定するよう変更した。</p>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>情報端末を中心としたシステム構築について、学校間の格差が出ないように計画的に進める。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小学校教育支援事業		継続		10		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給 ・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		33,779 千円	36,270 千円	34,015 千円	
	特定財源	国・県支出金	475 千円	603 千円	604 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		33,304 千円	35,667 千円	33,411 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	該当世帯件数に対する補助金交付件数の割合		%	計画 100	100	100
				実績 100	100	100
	支援教員への研修回数		回	計画 4	4	4
				実績 4	4	4
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費(翌年度入学児童新入学学用品費)を認定した家庭に年度内に支給することができた。 ・低学年支援教員研修は、配慮が必要な児童の学習指導方法を研究し、実践した。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、支給を行う。通常の事業の周知のほか、7月に再度事業の周知(保護者宛通知を学校経由で配布する。)を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮した世帯に対して就学援助費申請の機会を確保する。 ・支援教員については、指導主事による学校訪問での助言を行うほか研修会を開催し、指導力向上を図る。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学校管理費運営費		継続		8		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無		
事業概要	<p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の管理・運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		60,560 千円	59,021 千円	52,923 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	272 千円	24 千円	103 千円	
一般財源		60,288 千円	58,997 千円	52,820 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	QU検査及びハイパーQU検査の実施校		校	計画 2	2	2
				実績 2	2	0
	NRT検査の実施校		校	計画 0	0	0
				実績 0	0	0
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>いじめの把握、意識を高めるため、月1回または学期毎に1回いじめアンケートを実施し、担任が個別に話を聞き、学年主任と共有した。そのため、QU検査及びハイパーQU検査(生徒の学校生活意欲、学級満足度の調査)は行わなかった。</p>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>校長会において市教委と各学校間の情報を共有し、スムーズな管理、運営を行っていく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学校施設維持管理事業		継続		2		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無		
事業概要	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など工事・修繕・業務委託					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	36,225 千円	11,583 千円	172,269 千円	
		地方債	16,919 千円	0 千円	27,342 千円	
		その他	5,400 千円	0 千円	53,900 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
		13,906 千円	11,583 千円	91,027 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	計画	件	1	1	1
				実績	1	1
		計画				
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に緊急性・優先性の高い改修に取り組んだ。 ・小諸東中学校の屋内運動場の大規模改修工事の実施設計に着手した。 ・両中学校のエアコン設置工事を竣工した。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。 ・建設後概ね30年が経過する小諸東中学校の長寿命化のための改修工事を複数年で計画的に実施する。 ・職員室、給食室などの使用率と必要性の高い部屋について、冷房設備の設置を検討する。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学校給食運営事業		継続		16		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無		
事業概要	自校方式で学校給食を提供する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	21,362 千円	23,072 千円	22,623 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
		21,362 千円	23,072 千円	22,623 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	給食日	計画	日	200	200	200
				実績	200	200
		計画				
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食協議会を通じ、各学校の取組みをそれぞれのPTAと情報共有した。 ・調理主任会、衛生責任者会、栄養士会、各々の会議で、各校取組み状況を共有しマニュアル改訂整備の検討を行った。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士、調理主任、衛生責任者、その他給食調理員の取組みを共有するとともに、検証及び適宜改定を行う。自校方式を継続し、給食給食調理業務の委託化に向け、検討を進めていく。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
中学校保健事業		継続		14			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種検診・検査の実施 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	7,585 千円	7,368 千円	6,956 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,691 千円	1,609 千円	1,170 千円		
		5,894 千円	5,759 千円	5,786 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	該当事件数に対する給付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	受診率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行ない、事案の早期把握に努めた。給付件数229件 ・ストレスチェックは、法で定める対象学校(1校)を実施した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
小諸市養護委員会で情報を共有する。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
中学校教育振興事業		継続		19			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動が外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い ・中学校の理科教育備品の整備 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	1,694 千円	2,122 千円	3,323 千円		
		地方債	250 千円	612 千円	1,029 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		1,444 千円	1,510 千円	2,294 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	実施学校数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	理科教育備品の必要な備品数に対する整備した備品数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。 ・部活動指導員を前年度より2名増やし、4名を雇用了。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の抱える課題については、各校のニーズを踏まえ、関係課と連携して検討していく。 ・理科教育備品については、適正な事務処理を行う。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学校ICT教育推進事業		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無		
事業概要	パソコン教室等、情報教育に係る環境の整備					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		3,342 千円	12,055 千円	9,956 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		3,342 千円	12,055 千円	9,956 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	生徒数に対するパソコン導入数の割合	%	計画	-	33	66
			実績	-	33	33
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項		
<p>・校長会等を通じ利用促進の働きかけと各学校での情報モラル教育の推進を行った。 ・タブレット端末の導入について、予定していた財源が確保できなくなったため、次年度以降に先送りした。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>無線LAN整備、端末の導入、教員研修等のソフト面での支援について、学校間で格差が出ないように計画的に進める。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中学校教育支援事業		継続		9		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付 要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		20,051 千円	18,647 千円	16,113 千円	
	特定財源	国・県支出金	431 千円	383 千円	494 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		19,620 千円	18,264 千円	15,619 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	該当世帯件数に対する補助金交付件数の割合	%	計画	100	100	100
			実績	100	100	100
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>就学援助費(翌年度入学生徒新入学学用品費)を認定した家庭に年度内に支給することができた。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、支給を行う。通常の事業の周知のほか、7月に再度事業の周知(保護者宛通知を学校経由で配布する。)を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮した世帯に対して就学援助費申請の機会を確保する。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
奨学費運営費		継続	23			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市奨学金審査会の運営 ・小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納 ・小諸市あさま奨学金の給付 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	5,293 千円	40 千円	24 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,293 千円	40 千円	24 千円	
指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
活動指標	審査基準を満たした利用希望者数に対する貸付件数の割合	%	計画	100	100	100
		実績	100	100	100	
		計画				
		実績				
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
ホームページ、中学校、地元高等学校や近隣高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を図った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
奨学費貸付事業		継続	22			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	5,880 千円	6,060 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	5,880 千円	6,060 千円	
指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
活動指標	審査基準を満たした利用希望者数に対する貸付件数の割合	%	計画	100	100	100
		実績	100	100	100	
		計画				
		実績				
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
奨学金については17名への貸付を行い、返済金については滞ることなく受納した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
奨学費給付事業		継続	21			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無			
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	0 千円	960 千円	960 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	960 千円	960 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	審査基準を満たした利用希望者に対する給付件数の割合	%	計画		100	100
			実績		100	100
			計画			
			実績			
令和元年度 実績	評価	維持	特記事項			
前年度に継続して2名に奨学金を給付した。 新規申請者は無し。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。 新規給付が無かったことから、要件緩和のため給付条例等の見直しを行う。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-1 学習環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名				新規・継続
事務局給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費				学校教育課
投入 指標			平成29年度	平成30年度
	年度別事業費		135,683 千円	129,110 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		135,683 千円	129,110 千円	
事務事業名				新規・継続
小学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費				学校教育課
投入 指標			平成29年度	平成30年度
	年度別事業費		75,171 千円	76,855 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		75,171 千円	76,855 千円	
事務事業名				新規・継続
中学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費				学校教育課
投入 指標			平成29年度	平成30年度
	年度別事業費		29,578 千円	30,121 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		29,578 千円	30,121 千円	
				令和元年度
				130,838 千円
				0 千円
				0 千円
				0 千円
				130,838 千円
				81,696 千円
				0 千円
				0 千円
				0 千円
				81,696 千円
				30,922 千円
				0 千円
				0 千円
				0 千円
				30,922 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	子ども育成課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化、核家族化、地域での人と人とのつながりの希薄化など、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに、複雑・多様化しており、対応が求められている。また、保育園の老朽化、未満児等保育ニーズの高まりに対する保育士の不足、特別なニーズのある子どもへの対応などが課題となっている。

◆方針

目的
各年齢段階に応じたサービスの充実を図り、子育ての経済的負担を軽減するなど、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。そのために、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら、社会全体(みんな)で取り組む。保育園については、統合を含む長期改築計画を策定するとともに、保育士の確保に向けた施策を検討する。また、特別なニーズのある子どもに対し、一人ひとりに応じたサービスの提供に努める。

◆令和元年度重点方針と目標

- ・芦原、中央の両保育園の再構築は、早期の整備に向け基本設計等の作業を進める。
- ・複合型中心拠点誘導施設の病児病後児保育施設とファミリーサポートセンターについては、受託事業者と協議しながら運営計画や必要な体制の整備を進める。
- ・令和2年度から5年間の第2期「子ども・子育て支援事業計画」を策定する。
- ・安全で安定的に保育園給食が提供できる調理体制の確保のため、調理業務委託の検討を進める。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子どもを産み育てることができるハード・ソフト両面の環境が整備された状態。 ②特別なニーズのある子どもが、一人ひとりに応じたサービスを受けられる状態。
設定理由
①社会全体(みんな)の取り組みによって、ハード・ソフト両面の子育て環境が整備されていれば、安心して子どもを産み育てることができるから。 ②近年、発達障がいなど特別なニーズのある子どもが増えており、一人ひとりに応じたサービスが求められているから。

◆実績

令和元年度実績						評価	拡充
<ul style="list-style-type: none"> ・芦原、中央の統合新保育園の基本設計では、保護者や保育士とワークショップを開催し、新保育園のイメージや必要な事項をまとめた。これに基づいた設計提案をプロポーザル方式により公募し委託事業者を選定、設計業務を開始した。 ・ファミリーサポートセンター事業は社会福祉協議会へ委託、事業内容、会則を定め、会員募集等を実施し、運営体制整備を進めた。 ・複合型中心拠点誘導施設内の「病児病後児保育施設・院内保育施設」は、それぞれ委託契約、テナント契約締結に向け、更に協議を進めるため「基本協定」を締結した。 ・子ども子育て会議や市民懇談会を開催し、子育て環境の課題解決に向けた議論を深め令和2年度からの「第2期小諸市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 ・保育園給食調理業務委託については、保育園職員へヒアリングを実施し情報共有と意見集約を行った。 ・特別な教育的ニーズのある子どもの指導者研修では、専門家のコンサルテーションによる学校での直接指導を実施した。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境に対する市民満足度(子育て世代(20~40代)の「不満」「やや不満」の合計)							
設定理由	ハード・ソフト両面の子育て環境が整備され、必要なサービスを受けることができれば、子育て世代の市民が子育て施策に不満を感じる割合が減っていくから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	30.3	計画	24	21	18	15		
		実績	22.0	15.6	16.9			
指標名	困っているときに相談できる人がいる割合(政策の「めざそう値2」)							
設定理由	困っているときに相談できる人がいれば、生活していく上での安心につながる。このことは、子育てにおいても同様であるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	46	計画	48	50	52	54		
		実績	43	46.9	46.1			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・統合新保育園は、保護者や保育士等の意見を取り入れながら設計業務を年度内に完了する。また50mプールを解体撤去し、地盤調査や測量業務を実施する。 ・「病児病後児保育施設・院内保育施設」は詳細な施設運営や経費についてこもろ医療センターと協議し、令和3年度開設の準備を進める。 ・ファミリーサポートセンター事業は社会福祉協議会と協議しながら会員の拡大、育成を進め事業の充実を図る。 ・保育園給食の調理業務委託は、保護者等市民へ説明を行い、プロポーザル方式により委託事業者を選定する。令和3年度委託開始に向け準備を進める。 ・特別な教育的ニーズのある子どもの指導者の資質向上に向けて、専門家の研修や学校全体で支援する体制づくりのため関係職員への研修を行う。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
保育所運営事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有				
事業概要	0歳から5歳までの乳児又は幼児を子育てする保護者が、就労等により保育を必要とする場合に対して保育をするため、公立保育園(児童福祉法第39条による保育施設)を運営する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		328,483 千円	359,326 千円	358,985 千円		
	特定財源	国・県支出金	2,973 千円	0 千円	1,462 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	14,488 千円	16,123 千円	27,724 千円		
一般財源		311,022 千円	343,203 千円	329,799 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	待機児童数		人	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画に沿った事業を実施した。 保育全般や施設の維持管理等について、安全対策を実施した。 給食調理業務の委託化に向け、保育園職員(給食調理員・保育士)へのヒアリング等を実施した。 新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら保育園の運営を行った。また3月以降感染リスクを避けるため登園自粛要請を行った。 		保育園の運営について、施設の老朽化や統廃合、民営化などの課題がある。社会環境の変化により、3歳未満児の入所ニーズが増えており、保育士不足が懸念される。					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 「芦原保育園及び中央保育園の再構築」については、両園でのワークショップで出された市民や保護者及び保育士の意見を取り入れて建設を進める。 保育園給食調理業務の委託実施に向け、市民懇談会の開催や関係者との十分な情報共有を行い、プロポーザル方式により適切な業者選定を行う。 新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、保育園を運営する。また、熱中症も含めた対策として未整備の保育室へエアコンを設置する。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
子ども・子育て支援事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無				
事業概要	子育て世帯への支援・子どもの成長支援の総合的な展開を平成27年度施行「子ども・子育て支援新制度」により図る。また、新制度による新たな認定・給付システムの運用を準備・運用・運営する。そのため、就学前の子育て支援に関係する事業(私立保育園、認定こども園、家庭的保育事業等)を統合的に所管・実施する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		312,943 千円	305,576 千円	353,708 千円		
	特定財源	国・県支出金	173,939 千円	202,627 千円	233,917 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	48,737 千円	18,319 千円	13,753 千円		
一般財源		90,267 千円	84,630 千円	106,038 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	新制度利用の申請率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	待機児童数		人	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 第2期小諸市子ども子育て支援事業計画を策定した。 病児病後児保育事業について関係者との調整を進めた。 ファミリーサポートセンター事業について、委託により事業を開始した。 10月からの幼保無償化について遅滞なく準備を進め、適正な運用を図った。 		【事業名変更:(変更後)子ども・子育て支援事業費】					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 「病児病後児保育施設・院内保育施設」について、関係者と協議を行い、令和3年度開設に向けた準備を進める。 「ファミリーサポートセンター」について、受託事業者と協議しながら、さらなる事業の充実を図る。 第二期小諸市子ども子育て支援事業計画による関連子育て施策を進め、また進行管理を行いながら、必要に応じて計画の見直し修正を行う。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
運動遊び事業		継続	11			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無			
事業概要	<p>学力・体力・道徳心の向上のための「運動遊び」の実践(脳科学の視点から、3歳から5歳までの幼児期の全身運動が「こころ」と「からだ」ひいては学力向上に大きく影響するという考えから)</p> <p>・公立保育園全園、私立保育園全園、子どもセンター(こもロッジ)、ひまわり園で、また、希望する私立幼稚園及び小学校で運動保育士による巡回指導の実施</p> <p>・事業推進のため保育園・幼稚園・小学校関係者等に対する研修会・講演会等の開催</p>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	5,762 千円	5,670 千円	3,993 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,762 千円	5,670 千円	3,993 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	プログラム実施保育園数	回	計画	10	10	10
			実績	10	10	10
	プログラム実施日数	日	計画	162	162	162
			実績	162	162	162
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>・運動遊び事業を導入している保育園、幼稚園、小学校で事業を継続して実施した。</p> <p>・運動保育士による巡回指導のほか、各園の保育士も運動遊びの指導を行った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>運動遊び事業を継続的に実施していくため、運動遊びプログラムを、子ども達に身近な各園の保育士や学校の教員が実施できるよう、継続的に指導研修を行いながら、段階的に運動保育士会による指導回数を減らし、各施設で実施できるよう進めていく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保育所建設事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無			
事業概要	<p>0歳から就学前までの乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な重要な時期であり、乳幼児の健やかな育ちを保障するための環境整備が不可欠である。</p> <p>現在7園ある公立保育園の中でも、建設から約40年が経過し、老朽化が著しく進行している「芦原保育園」と「中央保育園」について、将来的な子どもの減少及び効率的な保育園運営のため、利用していない南城公園50mプールに統合園を建設する。</p>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	2,139 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	2,139 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	待機児童数	人	計画	0	0	0
			実績	0	0	0
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項		
<p>・統合保育園新築設計業務委託(基本設計、造成計画、施設計画、開発行為申請)の発注を行った。</p> <p>・統合新保育園の基本設計業務は芦原保育園・中央保育園の保護者や7園の保育士とワークショップを行い、新保育園に対する提案テーマをまとめた。これに基づき、公募型プロポーザルによる企画提案を受け設計業者を選定、契約締結後、3月中旬から基本設計作業に取り掛かった。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>基本設計・実施設計・建設工事へと事業を進めていく中で、関係者や市民への適切な情報提供を行うとともに、設計者や建設業者との綿密な連携を図り、事業を予定どおりに進めていく。</p> <p>令和3年度の建設工事に向け、設計業務・50mプール解体撤去・地盤調査や測量業務については、令和2年度内に事業を完了する。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
私立幼稚園補助事業		継続	12				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		子ども育成課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園運営補助金の交付 私立幼稚園保護者への幼児教育保育無償化に伴う保育料等の交付 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		81,985 千円	80,996 千円	126,736 千円		
	特定財源	国・県支出金	27,163 千円	25,927 千円	114,008 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		54,822 千円	55,069 千円	12,728 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	該当件数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 適正に補助金を交付することができた。 公私の施設間において、連携や協議を行い、調整することができた。 みずず幼稚園給食室改修工事の補助事業を適正に実施した。 10月からの幼保無償化について遅滞なく準備を進め、適正な運用を図った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>市内の子どもの約6割を保育している私立幼稚園の適正な運営を確保するため、幼児教育保育無償化による保育料等を適切に交付する。 認定こども園小諸幼稚園の改築工事の補助金を交付し、小諸幼稚園へ通う幼児の教育・保育環境を整える。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
子どもセンター運営事業		継続	8				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営 子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施 放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		23,082 千円	26,868 千円	22,331 千円		
	特定財源	国・県支出金	5,245 千円	5,700 千円	3,235 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	60 千円	70 千円	66 千円		
一般財源		17,777 千円	21,098 千円	19,030 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	利用者数		人	計画	42,000	43,000	43,000
				実績	48,142	51,167	45,283
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 保護者がサービスを必要としたときの選択肢の一つとして検討できるよう広報こもろ等を活用して周知活動を積極的に行うことができた。 利用者ニーズを踏まえ、予約制の個人相談業務の充実を図った。 新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、休校中も運営を行った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>第二期小諸市子ども支援事業計画に沿って子育て事業を実施する。また、ニーズの変化等により必要に応じて各種事業の改善を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、子どもセンターを運営する。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
児童クラブ運営事業		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無			
事業概要	・保護者が、就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		11,258 千円	12,480 千円	11,607 千円	
	特定財源	国・県支出金	5,910 千円	6,186 千円	3,501 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,424 千円	2,937 千円	2,703 千円	
一般財源		2,924 千円	3,357 千円	5,403 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合		%	計画 100	100	100
				実績 100	100	100
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て支援事業計画に沿った運営を行うことができた。 新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、休校中も運営を行った。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の児童生徒を安全に預かる体制の確保のため、指導員の確保に努める。 新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、学校施設も活用して分散して運営する。また、クラブで使う学校の特別教室へのエアコンの設置等、熱中症対策を実施する。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
児童施設運営事業		継続	9			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、又は情操を豊かにする施設の運営 18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成する。 					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		28,543 千円	29,392 千円	29,027 千円	
	特定財源	国・県支出金	5,910 千円	6,186 千円	3,501 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,447 千円	2,937 千円	2,703 千円	
一般財源		20,186 千円	20,269 千円	22,823 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合		%	計画 100	100	100
				実績 100	100	100
			人	計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 小諸市子ども子育て支援事業計画及び制度に沿った施設運営を行うことができた。 職員配置や施設修繕などを行い、利用者の安全な環境を提供した。 未使用施設がいつでも使用できるように施設管理を行うとともに東児童館の運営等について検討した。 新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、休校中も運営を行った。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の児童生徒を安全に預かる体制の確保のため、児童厚生員の確保に努める。 新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、学校施設も活用して分散して運営する。また、児童館で使う学校の特別教室へのエアコンの設置等、熱中症対策を実施する。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
就学指導支援事業		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有				
事業概要	・配慮を要する児童生徒への適切な就学指導及び教育支援を行なう						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	4,675 千円	4,525 千円	4,585 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	4,675 千円	4,525 千円	4,585 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	教育相談での心理検査実施数	件	計画	70	70	70	
			実績	89	102	100	
		令和元年度 実績	評価	計画			
				実績			
特記事項			・巡回訪問や特別支援コーディネーターとの連携により、就学相談や指導をスムーズにこなすことができた。 ・必要な児童生徒については「配慮を要する子ども資料票」を作成することにより、関係機関における情報共有がより細かく行うことができた。				
目標の実現に向けた今後の取り組み 学校生活で配慮が必要な児童・生徒を把握し、保護者・学校・関係機関と連携し個々の実情に沿った支援を行なう。必要に応じ見直しをしながら支援する。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
家庭児童相談事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有				
事業概要	・児童福祉の充実と養育や家庭の経済状況等の様々な問題からくる、児童の家庭環境の整備や支援と相談を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	2,261 千円	2,320 千円	2,367 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	2,261 千円	2,320 千円	2,367 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	家庭児童相談員の関わるハイリスク家庭の支援会議数	回	計画	24	24	24	
			実績	18	7	4	
		令和元年度 実績	評価	計画			
				実績			
特記事項			・様々な養育状況や家庭環境により養育が機能していない家庭への相談や支援は、関係機関との連携により早期からの支援が可能となり、結果としてハイリスクな支援対象者が減少したと推測される。				
目標の実現に向けた今後の取り組み ・母子相談員・保健師・ケースワーカー等と共に支援家庭の訪問や相談を行ない、多面的な支援を継続していく。 ・幼稚園・保育園・小中学校・児童館等をこまめに訪問し情報共有を図り、必要に応じて支援会議や専門機関へ繋いでいく。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
教育支援センター等運営事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	9,969 千円	10,371 千円	9,769 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	9,969 千円	10,371 千円	9,769 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	センター職員による相談訪問件数	回	計画	480	480	480
			実績	547	814	766
	中間教室に通室している児童生徒の在籍校等への復帰率	%	計画	30	30	20
			実績	8	14	16
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>・不登校の改善対応として、支援センターと学校が連携して家庭訪問などの支援を行うことにより、学校復帰や通室ができる生徒がいた。</p> <p>・家庭内引きこもり児童生徒の情報共有ができ、家庭訪問を行う体制整備や不登校になる前の相談など教育的支援が受けられるよう関係機関と連携が図れた。</p> <p>教育支援センター通室が出席扱いになるようになり、必ず在籍校の復帰を目標としなくても、通えるところでよいと判断していくため、復帰率を変更した。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・中間教室機能の強化として、通室している不登校児童生徒の学習・生活支援を行う。また、中学校の不登校支援講師と連携を密にしなが、在籍校復帰への支援を行う。</p> <p>・長期欠席による家庭内引きこもりの児童生徒に対し、家庭及び学校等と連携を図り登校支援を行う。</p> <p>・集団生活への不適合等悩みを抱えている児童・生徒・保護者・担任等からの相談にのり、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携していく。</p> <p>・学校のICT環境整備に合わせて、教育支援センターにおける環境整備も行う。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
特別支援教育等推進事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	<p>・学校運営を補助し、特別支援学級に在籍する児童生徒や配慮を要する児童生徒への支援を行うために支援員を配置する。</p> <p>・特に中学生の集団不適応や不登校の教育的支援を行うために、不登校支援講師を配置する。</p> <p>・支援員や特別支援教育に関わる先生等のスキルアップや指導者となっていけるようにするため、研修や講演会等を実施する。</p>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	35,405 千円	35,509 千円	38,078 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	35,405 千円	35,509 千円	38,078 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	支援員の配置数	人	計画	22	23	21
			実績	21	24	25
	支援員の研修回数	回	計画	4	4	4
			実績	3	3	3
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>・支援が必要な児童生徒の状況を把握し、学校と協議しながら、支援員の効果的な配置が行えた。</p> <p>・指導主事による日常的な相談対応や情報共有、また、研修会の開催等により支援員のスキルアップが図れた。</p> <p>・行動分析学の専門家による研修を実施し、知識や対応への理解を深められた。</p> <p>支援員から不登校支援講師に振り替えたため、配置数を変更した。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・多様な対応が必要な支援児童生徒が増える中で支援員への研修を行い、知識や対応への理解を深めてスキルアップを図っていく。また、特別支援に特化した指導主事に日々相談できる体制もあるので、情報共有も含め連携していく。</p> <p>・支援員配置等について、支援が必要な児童生徒の状況を把握し、学校と協議を行い効果的な配置を行う。</p> <p>・発達障がいなど特別なニーズのある子どもに対する支援の充実を図るため、行動分析学の専門家による研修を通じ、保育等の現場で支援を実践できる指導者の育成を図る。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続			
保育所費給与費		継続			
会計・款・項・目		所管課			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課			
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費	152,882 千円	150,938 千円	163,322 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	106,415 千円	0 千円	0 千円
一般財源		46,467 千円	150,938 千円	163,322 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	スポーツ課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

生涯学習施設のうち、美術館・記念館は総じて入館者が減少傾向にあり、文化センターは安定した利用者数で推移している。一方、スポーツ施設は全体的に利用者が増加傾向にある。新たに開館した図書館と市民交流センターは利用者が多く、好評を得ている。文化センター等での各種講座等は、参加者数が安定しているが、参加者の固定化が見られる。生涯学習施設は、老朽化しているものや利用者が少ないものなどがあり、今後のあり方の検討が必要である。

◆方針

目的
魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室の開催など、生涯学習の機会を創出し、市民の主体的な「学び」を促進する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。

◆令和元年度重点方針と目標

- ・令和元年度から開始する市立小諸図書館の一部業務委託について、円滑な業務遂行のための助言指導を行う。
- ・大栄小諸野球場(南城公園野球場)について、老朽化が著しいことから、年次計画で大規模改修を実施する。また、ラバーフェンスへの広告等による資金調達を推進する。
- ・音楽のまち・こもろ推進協力団体の育成支援及び月1回のミニコンサートを開催する。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、その成果が地域で生かされている状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、多くの市民に利用されている状態。
設定理由
①市民が主体的に学び、その成果が地域で生かされれば、市民の生きがいづくりにつながり、さらなる「学び」が促進されるという好循環が生まれ、「生涯学習社会」の実現につながるから。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、多くの市民に利用されていけば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館(本館)をはじめ、美術館、記念館、図書館、スポーツ施設等の生涯学習施設において、各種講座・教室等を開催し、多様な「学び」の機会の提供を行った。 ・各種生涯学習施設の適切な管理・運営に努め、個別施設計画を策定した。 ・毎月、ミニコンサートを開催した。(2月及び3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。) ・大栄小諸野球場のラバーフェンスの更新を行い、有料広告収入を確保した。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(政策の「めざそう値3」)							
設定理由	文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	35	計画	39	40	41	42		
		実績	35.2	34.8	38.9			
指標名	本を身近に感じている人の割合(政策の「めざそう値1」)							
設定理由	本を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	45	計画	49	51	53	54		
		実績	45.8	47.5	50.7			
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(「不満」「やや不満」の合計)							
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して不満を感じている人の割合が低くなれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	27	計画	25	24	23	22		
		実績	29.7	24.2	19.0			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を進める。 ・市民が生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理・運営を行う。 ・個別施設計画に基づき、短期的には必要な改修を行いながら、施設の長寿命化を図る。 ・トップアスリートとのスポーツ交流事業等を通じ、ジュニアスポーツ(児童生徒)の育成・支援を進める。 ・スポーツ推進計画に基づき、関係団体と連携し、ニーズを踏まえたイベントや教室の充実を図り、様々なスポーツを親しめる取組を進める。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

教育振興基本計画/スポーツ推進計画/(第3次)小諸市子ども読書活動推進計画 個別施設計画							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
社会教育総務費運営費		継続		28		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		2:有		
事業概要	・市民が「いつでも、どこでも、なんでも」学ぶことができるように環境を整備し、生涯学習で得られた知識や経験が、地域社会、特に子ども若者の支援に還元される社会の形成を企画する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		1,982 千円	2,103 千円	1,927 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	113 千円	59 千円	175 千円	
一般財源		1,869 千円	2,044 千円	1,752 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	計画	4	4	4
			実績	5	6	3
	社会教育委員行事参加要請回数	回	計画	5	5	5
			実績	6	6	5
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や子育てに関するシンポジウムを開催し、生涯学習の推進を図った。 ・社会教育委員連絡会として、先進地である岡谷市を視察し、岡谷市社会教育委員と意見交換を行った。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の活動について、令和2年度は小諸市教育振興計画の策定の年であるため計画案に対する意見を聞く。 ・出前講座について、市民ニーズの高い講座を設定し、広報することにより参加者の増を図る。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小諸藤村文学賞事業		継続		18		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など (「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず、海外からの応募もあり、応募者はいまだに増加している。長年の継続により、レベルも向上してきている。)					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		6,165 千円	6,216 千円	5,636 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		6,165 千円	6,216 千円	5,636 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	一般応募者数	人	計画	1,000	1,000	1,000
			実績	832	868	759
	高校生応募者数	人	計画	1,100	1,100	1,100
			実績	1,298	1,110	975
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・第26回小諸藤村文学賞の応募者総数は2,390人で、全国各地から応募があった。 ・第25回小諸藤村文学賞は、6月23日に本選考、8月21日に表彰式を実施した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の応募者数を増やすため、インターネットの公募サイトのほかSNSを使い応募を呼びかける。 ・市民に事業内容及び入選作品の紹介を行う。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
成人式開催事業		継続		26			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	伝統儀式「成人式」の新成人(実行委員会)による自主的運営を支援していく環境づくり。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		723 千円	497 千円	407 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		723 千円	497 千円	407 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	成人式の参加率		%	計画	75	75	75
				実績	78	70	75
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・新成人対象者の有志10名による実行委員会を組織して、当日の式典を企画運営した。 ・SNSを活用して周知を行うことにより、市外居住の新成人も参加することができ、茶和会は中止したが、297名の参加があった。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やすため実行委員による魅力ある企画運営を行う。 ・SNSを活用し、市外居住の対象者への参加を呼び掛ける。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
史料館等管理事業		継続		17			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	生涯学習振興のうえで重要な位置を占めている社会教育関係施設を運営・維持管理し、住民ニーズへの柔軟、迅速、的確な対応と、新たに生じてくる現代的課題に対応する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		7,730 千円	7,463 千円	7,873 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	25 千円	25 千円	97 千円		
一般財源		7,705 千円	7,438 千円	7,776 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	古文書の目録作成件数(累計)		冊	計画	-	3	4
				実績	-	3	4
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書調査室において、旧家等の古文書の調査研究を行うとともに、市民を対象に古文書学習講座を開催し、延べ398名の参加があった。 ・市役所1階展示情報コーナーの一角に、出張郷土博物館として、収蔵品等の展示をシリーズ化して実施した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書調査室、市役所ロビー展示コーナーや広報こもろにより、古文書史・資料の調査の成果を公開する。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
青少年育成補導推進事業		継続	24			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		3,864 千円	4,053 千円	4,173 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		3,864 千円	4,053 千円	4,173 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	公募による青少年補導委員	人	計画	4	4	4
			実績	3	3	3
	信州型コミュニティスクール推進事業交付金を活用した学校の数	校	計画	6	8	8
			実績	8	8	8
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
・センター補導(4回)や支部補導(9支部で年4回ずつ)、青少年補導委員研修会など、年間計画に基づき実施した。 ・信州型コミュニティスクール推進事業を市内の全ての小中学校で実施した。		青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・信州型コミュニティスクール事業の充実のため、他自治体の先進的な取組例を参考に事業のあり方を検討する。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
音楽のまち・こもろ推進事業		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	音楽には、人に元気や勇気、潤いや癒しを与え、人生を豊かにする力がある。まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールほか各種事業を推進する。					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		837 千円	721 千円	2,273 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		837 千円	721 千円	2,273 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数	件	計画	30	40	50
			実績	34	33	25
	ミニコンサートの開催回数	回	計画	—	—	12
			実績	—	—	10
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
・第3回「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」を開催し、9月23日の市民音楽祭の際に表彰式を行った。 ・最優秀賞作品を夕方の防災行政無線のサインメロディーに採用した。 ・月に1回、ミニコンサートを開催した。		※令和元年度より、事業名を「音楽のまち・こもろ作曲コンクール事業」から「音楽のまち・こもろ推進事業」に変更した。 ・活動指標へ「ミニコンサートの開催回数」を追加した。(R1年度～)				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・作曲コンクールの応募作品数を増やすため、作曲に関するセミナーを開催する。 ・音楽関係団体のネットワーク作りを支援する。 ・小中学校の音楽部活等へ専門講師を派遣する。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
図書館運営事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館・市民交流センター費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	44,460 千円	57,265 千円	69,839 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	1,751 千円		
		一般財源	44,460 千円	57,265 千円	68,088 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	来館者数		人	計画	—	—	210,000
				実績	216,594	223,674	236,513
	資料貸出し数		冊	計画	250,000	262,000	254,000
				実績	254,723	255,343	267,527
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から一部業務を委託化した。 ・文化講演会、4周年講演会等のイベントを実施したほか、企画展示やお話を開催した。 ・健康づくり課等を中心に各課と連携した取組を行った。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・一部業務委託者が適正な業務を行うよう管理を行う。 ・市役所や近隣の施設等と連携することで、市民から必要とされる情報を提供する。 ・子どもの読書を推進するため幼稚園・保育園・小中学校等と連携を行う。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
市民交流センター運営事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館・市民交流センター費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	市民交流センターの運営						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	8,122 千円	9,697 千円	10,275 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	3,393 千円	3,852 千円	3,748 千円		
		一般財源	4,729 千円	5,845 千円	6,527 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年間開館日数		日	計画	335	335	335
				実績	335	335	334
	開館時間(1日あたり)		時間	計画	14	14	14
				実績	14	14	14
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の活動の場所を安定的に供給し、利用者を増加させることができた。 ・交流センターの運営について、当面の間は現運用で行うこととした。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・運営体制については、図書館の一部業務委託者の状況を見定めながら検討する。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
公民館運営事業		継続		7		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する施設として、施設の維持管理を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		13,448 千円	11,863 千円	12,356 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,046 千円	1,192 千円	1,198 千円	
一般財源		12,402 千円	10,671 千円	11,158 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	公民館運営審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	2	1
	こもろ女性の家運営委員会開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	2	1
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
各施設の利用申し込み及び備品の貸し出しを抽選にて予約の順番を決めて行っており、混乱することなくより公平・公正にまたスムーズに対応ができた。						
・活動指標へ「こもろ女性の家運営委員会開催回数」を追加した。(R1年度～)						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
1 利用者の利便を図るように、特に、高齢者や障がいのある方がより良く利用しやすいように、公民館を運営、維持管理する。 2 下足での入館試行を重ね、検討、研究を進め結論を出す。 3 災害時の住民受入れ対応のための施設整備は、関係各課と調整、研究し進めていく。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
公民館報発行事業		継続		23		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	広報こもろと併せた公民館報を編集し、発行する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		2,452 千円	2,457 千円	2,628 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,452 千円	2,457 千円	2,628 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	公民館報の発行回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
			計画			
			実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
館報編集委員会は月2回(年24回)開催した。また、市民に親しまれるような館報となるように分かりやすく読みやすい構成になるよう工夫した。構成の見直しを行い、会館カレンダーの縮小、俳句・短歌などのコーナーの隔月化を続け、より多くのイベント及び活動団体紹介を行った。また、読みやすい紙面を目指し写真の割合を増やした。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
1 公民館活動が年間にわたって、いつ、どこで、何の事業等を開催するのかを、分かりやすく市民に伝える創意工夫を引き続き行い、紙面に分かり易く載せる。 2 紙面構成の刷新について、館報編集委員会での協議、研究、検討の上、多くの市民に読まれ、親しまれる館報となるように進める。 3 館報内容・項目配置について、常により良いものとなるようにする。 4 館報掲載内容やあり方について、再検討していく。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
支館・分館支援事業		継続		19		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	最も身近な学習の拠点として、住民自らが生活地域の課題・宝に気づき、課題を共有し、住民同士のつながりを作り出す地域づくりの実践をすすめる支館・分館活動への支援。					
投入指標	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	年度別事業費	5,866 千円	5,903 千円	6,089 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
その他	0 千円	0 千円	0 千円			
一般財源	5,866 千円	5,903 千円	6,089 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	公民館役員研修会	回	計画	3	3	3
			実績	3	3	3
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
支館・分館の振興事業として、公民館関係役員研修会を年3回実施し、特に第2回目では、松本大学白戸洋教授から「公民館と地域づくり」と題し講演いただいた。また、第3回目では、支館分館事業(御幸町分館、池の前分館、森山分館)、支館分館モデル事業として(大里支館、市町分館、新町分館、氷分館)からの活動報告、事例発表があり、他の分館、支館の活動の参考となり、刺激にもなった。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
1 公民館関係役員研修会では、各支館・分館活動事例発表を行い、他の公民館活動内容を傾聴することにより分館等活動の活発化の一助、参考刺激となるようにする。						
2 支館・分館のそれぞれの地域課題解決につながり、その運営、活動が活性化するための「小諸市公民館モデル事業 地域課題解決に向けてつどい・まなぶ 公民館事業」が、しっかり実施できるように側面的支援を行う。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
学級・講座等開催事業		継続		20		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各種学級・講座等の開催 自主学習グループの育成指導等 					
投入指標	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	年度別事業費	2,983 千円	2,458 千円	2,404 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
その他	0 千円	0 千円	0 千円			
一般財源	2,983 千円	2,458 千円	2,404 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	公民館の講座数	講座数	計画	38	38	38
			実績	46	47	49
	公民館の講座延べ回数	回	計画	256	170	170
			実績	163	161	162
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
多様な年齢層の市民が参加できるよう、検討、改善を行い、各講座等を開催してきた。具体的には夏休み子ども講座等の充実を図り、こもる女性の家自主講座の見直しを行った。また、受講者が講座終了後も継続して自主的に学習を進められるよう支援した。なお、必要な講座では、保育士を配置し託児の希望に応え参加しやすい環境を整えた。						
活動指標「公民館の口座受講者数」から「公民館の講座延べ回数」へ変更した(R1年度～)						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
1 市民のニーズに合わないものの精査、及び既存の学級・講座等で参加者の少ないものは廃止する等の精選をする。また、各学級・講座終了時には、アンケート等を集約し、結果を検討した上で、内容に反映させる。						
2 こもる女性の家の自主講座では、引き続き保育士を配置し、託児の希望に応え講座に参加しやすい環境を整えるとともに、受講料金等の受益者負担導入の研究、検討を行う。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
文化センター運営事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・6社会教育費・4文化センター費		文化財・生涯学習課	2:有				
事業概要	文化会館等施設環境の整備をする。市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。また、貸館で、利用者の利便を図る。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		28,607 千円	28,481 千円	45,462 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	7,414 千円	5,753 千円	5,372 千円		
一般財源		21,193 千円	22,728 千円	40,090 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	文化会館ホールの設備改修		回	計画 実績	舞台機構一式 なし	舞台機構一式 なし次年度へ	舞台機構一式 舞台機構一式
	自主公演事業開催回数		回	計画 実績	3 3	2 3	3 3
	令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
文化会館ホールの舞台機構改修を行なった。自主事業(市民音楽祭、音楽の絵本～プレミアム、吹奏楽クリスマスコンサート)では、市民の共感、満足を得ることができ効果があった。台風の影響で佐久市コスモホールが使用不可となり、小諸市文化会館ホール利用となったケースがいくつかあった。2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大予防のための自粛により、ホールの使用を中止した。		昭和59年に文化会館が建設され開館34年以上経過しているが、当館ホール舞台機構設備の一式の吊物ワイヤーロープ、制御盤・操作盤等の耐用年数が過ぎ経年劣化が著しいので更新・改修を進め、安全で快適な設備環境を整える。なお、1回目は平成30年度に工事発注し、令和元年度に工事を行う。2回目として令和3年度実施予定である。					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
1 ホールの吊り物等の改修に向けて、計画的に設計等を進め安心して使用できるようにしていく。 2 市民ニーズに応えられるような事業(貸館事業・自主事業)を開催する。そして、市民音楽祭や自主事業をととして、市民の文化水準の向上に寄与するように、また、「音楽のまちこもる」として定着していくように実施していく。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
小山敬三美術館運営事業		継続	11				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無				
事業概要	小山敬三美術館の運営・維持管理(選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらう。)						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		14,542 千円	15,177 千円	17,248 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,495 千円	3,788 千円	3,426 千円		
一般財源		13,047 千円	11,389 千円	13,822 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	入館者数		人	計画 実績	21,000 20,614	21,500 19,315	22,000 19,378
				計画 実績			
	令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
・小山敬三美術館運営委員会を開催し、令和元年度の事業計画等について協議した。 ・懐古園入園者は減少しているが、美術館で魅力ある企画展や友の会共催事業、美術講演会等を開催することにより、入館者を増やすことができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・魅力ある自主事業を企画し、市内外に向け情報発信を強化する。 ・美術館に雨漏りが起きないよう屋根の修繕を行う。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高原美術館・白鳥映雪館運営事業		継続		12			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	20,338 千円	21,855 千円	22,261 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	2,374 千円	2,178 千円	1,830 千円		
		17,964 千円	19,677 千円	20,431 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	入館者数		人	計画	10,000	10,000	10,000
				実績	13,867	14,326	13,703
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小諸高原美術館・白鳥映雪館協議会を開催し、令和元年度の事業計画等について協議した。 ・多くの市民に来館してもらえるよう、広報こもろ、ホームページ、ダイレクトメール等により周知に努めた。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こもろ、ホームページ、SNSなどあらゆる媒体を活用して美術館の魅力のPRを実施する。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業		継続		13			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催 (小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	3,790 千円	4,317 千円	3,666 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	200 千円		
		3,790 千円	4,317 千円	3,466 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	企画展等開催回数		回	計画	10	10	10
				実績	12	13	12
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・12回の企画展を実施した。 ・4月～11月の毎月2回、まなびのまち造形講座(4講座)を開催した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある企画展を開催し、情報発信を市内外に向けて強化する。 ・立地条件を活かし、コンサートなどの美術以外の魅力ある事業を開催することにより、美術館の認知度を上げ、来館者増を図る。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
藤村記念館運営事業		継続		14			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		9,782 千円	10,721 千円	9,263 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	406 千円	409 千円	354 千円		
一般財源		9,376 千円	10,312 千円	8,909 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	入館者数		人	計画	43,000	43,000	43,000
				実績	39,703	34,624	32,695
	藤村忌参加者		人	計画	200	200	200
				実績	200	200	200
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・藤村記念館協議会を開催し、令和元年度の事業計画等について協議した。 ・入館者数は、懐古園入園者に比例して減少したが、藤村忌・藤村文学講座・企画展等の開催により、館の魅力を発信することができた。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代に向け記念館のPRを行うことにより、入館者の増を図る。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小諸義塾記念館運営事業		継続		16			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		2,718 千円	2,901 千円	4,225 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	17 千円	30 千円	22 千円		
一般財源		2,701 千円	2,871 千円	4,203 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	入館者数		人	計画	12,000	12,000	12,000
				実績	13,105	11,023	10,809
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・木村熊二留学先で中学生海外派遣事業先でもあるホープカレッジ校の関係資料を展示した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸義塾関係者の偉業について、積極的にPRを行い入館者を増やす。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高濱虚子記念館運営事業		継続		15			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		10,275 千円	9,632 千円	9,433 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	485 千円	324 千円	297 千円		
一般財源		9,790 千円	9,308 千円	9,136 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	入館者数		人	計画	2,400	2,400	2,400
				実績	2,214	2,390	1,943
	虚子・こもろ全国俳句大会応募者		人	計画	6,000	6,000	6,000
				実績	8,135	6,072	4,036
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「虚子・こもろ全国俳句大会」及び「こもろ・日盛俳句祭」を開催した。 ・俳句講座、企画展を開催した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者増につながる企画展を開催するとともに、館の効率的な運営を行う。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
保健体育総務費運営費		継続		28			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課		1:無			
事業概要	市民のスポーツの推進・振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、体育協会はじめ各スポーツ団体への助成等を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		5,176 千円	5,193 千円	5,169 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		5,176 千円	5,193 千円	5,169 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	スポーツ推進審議会の開催数		回	計画	2	1	2
				実績	0	1	2
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>小諸市体育協会、小諸市スポーツ推進委員会、公募市民等からの委員で構成する小諸市スポーツ推進審議会を2回開催し、施設利用、スポーツ団体の状況等について検討、意見交換を行った。</p>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小諸市スポーツ推進計画により事業を進めながら、スポーツ施設の個別施設計画を策定する。小諸市体育協会やスポーツ少年団、小諸市スポーツ推進委員会、総合型スポーツクラブと連携し、ニーズに合ったイベントやスポーツ教室を企画する。 ・2027ながの国体のレスリング会場となることから、関係団体と連携しながら環境整備に向けた取組みを進める。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
スポーツ推進委員会運営事業		継続	24				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無				
事業概要	・市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		882 千円	862 千円	734 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		882 千円	862 千円	734 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	定例会の開催数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	11
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>・各種スポーツイベント(三岡ウォーキング、新年走り初め&ウォーキング、障がい者ニュースポーツ大会、駅伝、綱引など)を主催・共催し、スポーツ振興を図った。 ・出前講座を3回実施し、市民の健康づくりとしてのスポーツを推進した。 ・定例会においてポッチャ等ニュースポーツの講習会を行い、推進委員としてのスキルアップを図った。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・誰でもできる健康づくりとしてウォーキングを継続的に実施し、市民の健康増進を図るとともに各地域での開催を目指し地域のリーダーを養成する。 ・パラリンピック正式種目で最近人気のあるポッチャ等ニュースポーツの講習会を地域で開催できるよう、スポーツ推進委員が引き続き定例会後に講習を行う。 ・健康づくり課や浅間南麓こもろ医療センターに講師を依頼する等連携し、健康づくりとしての生涯スポーツの推進を図る。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
スポーツ大会等運営事業		継続	21				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無				
事業概要	・幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		4,348 千円	4,149 千円	3,656 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		4,348 千円	4,149 千円	3,656 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	スポーツ大会数		大会	計画	10	10	10
				実績	12	9	10
	競技団体等主催市内スポーツ大会数		大会	計画		80	80
				実績		80	80
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>・計画した大会等は、事故等なく予定どおり開催することができた。 ・定着しているスポーツ大会について、体育協会やスポーツ団体の主催とすべく大会運営の移管を目指したが、実現できなかった。</p>							
<p>目標・活動指標追加:平成30年度分から市の主催大会数だけではなく市内で開催される大会数を追加</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・スポーツ大会、スポーツ教室について広報こもろ、ホームページ、SNS等による効果的な広報に努める。 ・体協各部が主催する市民大会は、ニーズを的確に把握するとともに、体協自身が主体的に運営できるよう研修等の情報提供を行う。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
学校開放事業		継続	26				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無				
事業概要	・市内の小中学校の体育施設(校庭・体育館)を地域のスポーツクラブ・スポーツ団体等に開放にする。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		539 千円	373 千円	235 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	339 千円	373 千円	235 千円		
一般財源		200 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	登録団体数		団体	計画	45	45	45
				実績	42	44	48
	利用件数		件	計画	1,250	1,700	1,700
				実績	1,727	1,914	1,899
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
48団体、1,899件の利用があった。登録団体は4団体増え、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体による適切な新型コロナウイルス対策を行うことにより、施設の安全・安心を確保する。 ・市保有の体育施設との連携を図り、利用団体が学校体育施設を円滑に利用できるよう運用する。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
高地トレーニング等推進事業		継続	9				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング構想の推進として、オリンピック事前合宿等の誘致及び、当該合宿チーム等を支援する。 ・長野国体での種目誘致及び、当該種目の競技力向上のための支援をする。 ・アスリートと市内児童生徒との交流を図る。 ・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		0 千円	744 千円	1,051 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		0 千円	744 千円	1,051 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数		泊	計画	1,000	1,100	2,100
				実績	1,044	3,569	2,351
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁が推進する「地域スポーツコミッション」の認定取得をした。 ・高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を進めるため、東海大学スポーツ医科学研究所と連携協定を結んだ。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング推進協議会と連携しトップアスリートの合宿受入から、スポーツによる地域づくり、市民の健康づくりを推進する。 ①アスリートや競技団体と子どもたちの交流事業を行い、身近に接することで学びや興味を抱き、子どもたちの育ちの一助となるスポーツ振興を目指す。②高峰高原の優位性を活かした取組みを推進するための根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を東海大学との包括連携協定により進める。③東京2020に向け、前年の合宿誘致を進める。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
体育施設運営費		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無			
事業概要	・教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理。 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		25,476 千円	25,131 千円	6,507 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	43,893 千円	4,149 千円	634 千円		
一般財源		-18,417 千円	20,982 千円	5,873 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	体育施設の事故件数		件	計画		0	0
				実績		0	0
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
修繕、計画的な維持補修等により体育施設の安全で快適な利用を図ることができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・アンケート等により利用者のニーズを把握し、施設に付帯する設備(水道、トイレ等)も計画的に整備する。 ・効率的な利用、事業運営を進めるため、予約管理等のシステムの導入を検討する。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
総合体育館等運営事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無			
事業概要	・指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、屋内ゲートボール場すばーく小諸、和田体育館、懐古射院)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		10,579 千円	12,223 千円	14,968 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	556 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		10,023 千円	12,223 千円	14,968 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	総合体育館利用者数		人	計画	42,000	48,000	48,000
				実績	48,466	52,444	54,351
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
自主事業の開催や施設の利用の呼び掛けを行い、利用者数は前年度を3.6%上回り、目標計画数も13.2%と大幅に上回ることができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・指定管理者と情報共有しながら適正な管理運営を行う。 ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により合宿等の受入れ拡大を図る。 ・2027年の国体開催に向け、指定管理者、関係スポーツ団体と協議をしながら準備を進める。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
南城公園プール運営事業		継続		20		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無		
事業概要	・スポーツ施設、レジャー施設として南城公園プールを運営・維持管理する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		19,554 千円	19,550 千円	18,428 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,879 千円	2,411 千円	2,064 千円	
一般財源		17,675 千円	17,139 千円	16,364 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	南城公園プール入場者	人	計画	15,000	15,000	15,000
			実績	10,296	12,171	12,011
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数はほぼ平成30年度と同じであったが、無料入場券利用者の割合が増えたため、使用料収入は約15%の減収となった。 ・児童生徒夏季体育大会へ参加した小学生に無料入場券を配布したことにより、利用者が増加した。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化、市民のニーズ、費用対効果等、検討すべき課題は多いが、個別施設計画に基づき対応していく。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため営業中止 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
大栄小諸球場運営事業		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無		
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		0 千円	0 千円	26,227 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	1,975 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	24,252 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	大栄小諸球場利用者数	人	計画			19,000
			実績			17,880
	大栄小諸球場稼働率	%	計画			68
			実績			92
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・totoの助成金を活用し、大規模改修としてラバーフェンスの改修を実施した。 ・外野ラバーフェンスへの有料広告掲出を行い、14区画すべてに応募があった。 ・球場開設日のほとんどに利用団体があり、稼働率は92%であった。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小諸市スポーツ推進計画、個別施設計画の策定を進め、計画的な維持管理を行う。 ・ラバーフェンスへの有料広告掲出は、ファウルグラウンドやダグアウト上部も検討し、さらなる自主財源の確保に努める。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
天池総合運動場運営事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	小諸市総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理。					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	0千円	0千円	1,802千円		
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円		
	地方債	0千円	0千円	0千円		
	その他	0千円	0千円	122千円		
一般財源	0千円	0千円	1,680千円			
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	高地トレーニング合宿受入団体数	団体	計画		18	
			実績		29	
				計画		
				実績		
	令和元年度 実績	評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により、学生や実業団のトップアスリートのトレーニング拠点の一つとして29団体の合宿を受け入れた。 ・湯の丸高原での宿泊チームを受け入れ、利用件数も増加した。 		平成31年度より体育施設運営費から事業出し				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設の一つとなるよう、管理委託先である浅間嶺スポーツクラブにより、競技者と利用者双方の視点からの適切な維持管理を行う。 ・人工芝を整備した多目的グラウンドの利用促進を図る。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

		事務事業名		新規・継続	
社会教育総務費給与費		会計・款・項・目		継続	
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費				所管課	
		平成29年度	平成30年度	文化財・生涯学習課	
投入 指標				令和元年度	
		年度別事業費	90,378 千円	100,326 千円	87,046 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	90,378 千円	100,326 千円	87,046 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。また、旧小諸本陣の解体復原工事は喫緊の課題である。
市内の古文書の整理・調査を旧臨時図書館に設置した古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が十分でなく、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。

◆方針

目的
文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等での積極的な有効活用を図る。個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。旧小諸本陣問屋場の解体復原工事を行う。郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制をつくるとともに古文書館(仮称)を設置する。

◆令和元年度重点方針と目標

・旧小諸本陣の解体復原事業に伴い、全体計画やスケジュール作成、概算設計等を実施する。
・古くから地域や市民の中で保存・継承されている「お宝」を「小諸市のお宝(誇り)」として認定・登録し、地域や市民が「公に価値や意義を認められたもの」として、誇りをもって大切に未来へつなげていく仕組みとして、「小諸ふるさと遺産認定事業」を推進する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。 ②郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸することなく、収集・保存・展示・研究等が一体的に行われている状態。
設 定 理 由
①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されれば、かけがえのない文化財を後世に引き継いでいくことができるから。 ②歴史的な資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等が一体的に行われれば、郷土にとって貴重な資料等を散逸させることなく、適切に後世に引き継いでいくことができるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・旧小諸本陣(問屋場)の解体復原事業の概算設計等を実施した。 ・2年目を迎えた小諸ふるさと遺産認定事業は新たに31件を認定した。 ・氷式土器及び石神遺跡出土品を市重要有形文化財とした。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(政策の「めざそう値3」)							
設定理由	文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、文化財の保存・継承・活用等に対する市民の意識も高まっていると考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	35	計画	39	40	41	42		
		実績	35.2	34.8	38.9			
指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(「不満」「やや不満」の計)							
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に不満を感じている人の割合が低くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	19.5	計画	17.5	16.5	15.5	15.0		
		実績	21.1	19.1	16.0			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を適切に保存・継承するとともに、観光等での活用の促進を図る。 ・小諸ふるさと遺産認定事業により、身近な文化財等への愛着と誇りを醸成する。 ・旧小諸本陣(問屋場)の復原後の有効活用について修理専門委員会(仮称)を組織する。 ・市名勝指定した「小諸城址懐古園」の県名勝指定を進める。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
文化財保護活用事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	10,200 千円	12,095 千円	8,689 千円		
		地方債	2,399 千円	2,720 千円	2,176 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	2,930 千円	2,953 千円	861 千円		
		4,871 千円	6,422 千円	5,652 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	学芸員の配置人員		人	計画	2	2	2
				実績	2	2	3
	文化財保護審議会の開催回数		回	計画	2	2	2
				実績	2	3	1
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会で氷式土器及び石神遺跡出土品を審議し、教育委員会へ答申をした。 ・小諸ふるさと遺産認定事業を実施し、応募のあった31件に認定証を交付、小諸ふるさと遺産集を発行した。 ・指定文化財保護補助金を交付した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懐古園の県名勝指定の早期実現のため、申請に向け準備を行う。 ・ふるさと遺産で認定されたものについて、広く市民に周知するほか、観光面でも活用できるよう関係機関と協議を行う。 							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物であり、国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	21,300 千円	10,355 千円	2,695 千円		
		地方債	10,629 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		10,671 千円	10,355 千円	2,695 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	解体復原工事の着手			計画	隣接地買収	調査等	設計等
				実績			設計等
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関に委託して概算設計書(保存修理事業計画)を作成した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金の交付申請を行う。 ・復元後に有効活用するために、修理専門委員会(仮称)を組織する。 							

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー5	市民の人権意識を高めます

所 管	人権政策課
関 連	人権同和教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」と回答している。また、平成28年度に「部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」の策定に向けた、女性、障がい者団体などとの意見交換会でも、差別、偏見、不平等などを受けた体験が語られた。このように、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けた切実な願いや長い間の様々な活動にもかかわらず、依然として差別や偏見などが存在している。

◆方針

目的
<p>社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。こうした中で、すべての人の人権が尊重され、人が人として自分らしく生きられる、差別のない小諸市を築くため、学ぶ機会(教育、啓発、学習)やふれあう機会(交流)の提供などを通じ、市民の人権意識を高める。また、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。</p>

◆令和元年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会において、「部落差別解消推進法」の周知・啓発を図るとともに、全区での開催をめざして未開催区への働きかけを強化する。
- ・人権センターの教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、人権施策の拠点施設として、今後の施設のあり方を検討し、個別施設計画を策定する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市民が、家庭、学校、企業、地域など様々な場において、必要なときに、人権に関する知識を得られる状態。 ②市民が、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる感性が身についた状態。 ③市民が、人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援を受けられる状態。</p>
設定理由
<p>①②「人権意識」は、豊かな感性を基盤に、人権尊重の意義を理解し、差別や偏見等に気づくとともに、その不合理性を認識できる感性や判断力であると言える。人権に関する知識を身につけ、感性や判断力を磨くことにより、人権意識が高まっていくと考えられるから。 ③人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援を受けることができれば、人権が尊重される地域づくりにつながっていくから。</p>

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育及び啓発として、地域では人権同和教育推進委員会、各区人権懇談会、集会所事業を開催し、企業では企業内人権同和教育推進連絡協議会、学校では幼保小中養高人権同和教育研究委員会による取り組みを行った。 ・人権センター事業(隣保館)として自主事業、相談事業を行った。 ・男女共同参画事業として、いきいきトーク、啓発セミナーを行った。 ・多文化共生事業として、相談事業、日本語教室、日本語学習支援セミナー、交流事業を行った。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)							
設定理由	上記の指標の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	未測定	計画	0	0	0	0		
		実績	10.7	6.7	9.8			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、企業等のそれぞれの場において、人権同和教育の学習や啓発の取り組みを行う。 ・人権センターを、名実ともに部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた取組みの拠点とするため、教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、利用者にとって喫緊の課題である施設の耐震化、バリアフリー化を検討する。 ・男女共同参画こもろプラン7を策定し、男女共同参画社会づくりを推進する。 ・多文化共生社会を目指し、くらしの相談、日本語教室、日本語学習支援セミナー、交流事業を展開する。 							
--	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
隣保館運営事業		継続		2		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費		人権政策課		1:無		
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	9,999 千円	10,700 千円	10,270 千円	
		地方債	4,367 千円	4,739 千円	4,374 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	133 千円	156 千円	157 千円	
		5,499 千円	5,805 千円	5,739 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	人権フェスティバルの開催	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
	文化、教養事業の実施	回	計画	84	84	84
			実績	72	84	125
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・センター自主事業(文化教養事業9事業)を開催(参加者延2,170名) ・人権センター 相談20件 利用状況(貸室等): 利用件数689件 利用者数8,906人。 ・人権フェスティバルを開催した(人権センター:約300名参加) ・人権啓発のため、人権フォーラムを開催(隔年)した。(参加者411名) 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員を配置することにより相談事業体制を継続する。 ・文化、教養、交流事業を実施し、実績発表の場として人権フェスティバルを開催する。 ・館内の展示資料、人権啓発に関する図書や教材の整備を行う。 ・施設の耐震化、バリアフリー化に向けた検討を進める。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
男女共同参画推進事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費		人権政策課		1:無		
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会・研修会等の啓発活動の実施					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	554 千円	559 千円	530 千円	
		地方債	50 千円	50 千円	50 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
		504 千円	509 千円	480 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合	%	計画	45	45	45
			実績	43	42	40
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画計画プラン7の策定に向けた準備を進めた。 ・男女共同参画セミナー(1回)いきいきトークを開催。男女共同参画の意識の向上に努めた。 ・小諸女性ネット:積極的な自主研修に取組み、指導者の育成に努めた。活動内容を市民回覧等で周知した。(女性ネット通信)・小諸市企業内人権同和教育推進連絡協議会会員企業へチラシ等資料を送付し、情報提供等及び啓発活動を行った。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会を推進するため、啓発事業や情報提供を行う。 ・女性活躍推進法に基づく、企業への働きかけの検討を行う。 						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
多文化共生推進事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費		人権政策課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流事業の実施 相談等による外国籍市民の地域生活の支援 外国籍市民の日本語学習の支援 外国籍市民支援ボランティアの育成 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		404 千円	389 千円	415 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		404 千円	389 千円	415 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	日本語学習支援教室開催回数		回	計画	58	62	59
				実績	58	62	61
	日本語ボランティア学習会開催回数		回	計画	2	2	2
				実績	2	2	1
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>・日本語教室を昼の部32回、夜の部29回開催した。</p> <p>・日本語ボランティア学習会については、2回の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により1回の開催となった。</p> <p>市民研修会として開催し、ボランティアのレベルアップと市民の外国籍市民への理解を図った。(20名参加)</p> <p>・外国籍児童の日本語力向上のため、希望に応じて夏・冬の長期休暇や土曜日、放課後時間に日本語学習支援を行った。(対象者7名)</p> <p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・外国籍住民の増加に伴い、日本語教室やわかりやすい日本語セミナー等を開催し、外国籍住民との共生社会づくりを推進する。</p> <p>・外国籍留学生を対象とした、ホームステイ事業を行う。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
人権同和教育推進事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 人権同和教育を学校・地域・企業等で推進する。 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		2,955 千円	3,118 千円	2,896 千円		
	特定財源	国・県支出金	215 千円	175 千円	175 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	120 千円	120 千円	120 千円		
一般財源		2,620 千円	2,823 千円	2,601 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	人権同和教育推進委員会研修会の開催		回	計画	2	2	2
				実績	1	1	1
	人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催		回	計画	4	4	3
				実績	4	3	3
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>・人権同和教育推進委員会総会に合わせて研修会を開催した。</p> <p>・人権懇談会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった区もあったが、32区で開催され500名の参加があった。</p> <p>・幼保小中養高人権同和教育研究委員会において、新任・転任教職員等研修会を開催した。</p> <p>・集会所交流事業は95回開催され、延1,080名の参加があった。</p> <p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・人権懇談会の運営内容を助言者会で検討し、各区等に積極的な開催を働きかける。</p> <p>・幼保小中養高人権同和教育研究委員会を通じ、学校での同和教育における「統一単元」の運用、各園各校における取り組み内容に係る情報交換と研修を行う。</p> <p>・企業内人権同和教育推進連絡協議会を通じ、各種研修会の案内や啓発資料等の情報提供、啓発ビデオの貸出等を行う。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
人権同和教育促進事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無			
事業概要	・解放子ども会の運営					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	419 千円	380 千円	335 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	419 千円	380 千円	335 千円		
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)	回	計画	30	31	31
			実績	30	31	31
			計画			
			実績			
	令和元年度 実績	評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日開催の子ども会や交流会等を通じて、差別に負けない子どもの育成を図った。(会員5人:子ども会活動31回) また、他の子ども会(旧望月町)との交流会も実施した。 ・会員数は減少傾向。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・解放子ども会の運営を、指導員と教職員、保護者で検討し、内容の充実を図る。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-5 市民の人権意識を高めます

事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			平成29年度	平成30年度	
			令和元年度		
	年度別事業費		5,149 千円	5,145 千円	4,573 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
その他		0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		5,149 千円	5,145 千円	4,573 千円	
事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			平成29年度	平成30年度	
			令和元年度		
	年度別事業費		24,247 千円	25,405 千円	25,765 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
その他		0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		24,247 千円	25,405 千円	25,765 千円	